

第27回 ヨウ素学会シンポジウム

- ◆ 日時 : 2024年9月13日(金) 9:00~17:30
- ◆ 場所 : 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館
- ◆ 主催 : ヨウ素学会
- ◆ 共催 : 千葉大学、(公社)日本化学会、日本ヨウ素工業会
- ◆ 協賛 : (公社)日本薬学会、(公社)有機合成化学協会、
(公財)千葉県産業振興センター、(一社)千葉県製薬協会、千葉工業大学
千葉大学ソフト分子活性化研究センター

< I部~IV部 : 講演 >

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:00~9:05	挨拶	横手 幸太郎 千葉大学学長		
I部 : 座長 (海宝龍夫)					
①	9:05~9:40	招待講演	Tuning Structure and Functional Properties of Hybrid Lead-Iodide Perovskites via Fluorinated Cations	Gabriella Cavallo	Politecnico di Milano
II部 : 座長 (松本祥治)					
②	9:40~9:55	一般講演	固体ヨウ素 127 核磁気共鳴 (NMR) 法の開発	○山田和彦	高知大
③	9:55~10:10	一般講演	色素をベースとした新しい共役系ポリマーへのヨウ素ドーピング効果	○徳嵩 葵・後藤博正	筑波大数理
④	10:10~10:25	一般講演	次世代ヨウ化物シンチレータの育成とその光学評価	○黒澤俊介・浦野雄介・佐藤大地・山路晃広	東北大NICHe・阪大レーザー研・東北大金研・東北大工
⑤	10:25~10:40	一般講演	The sodium iodide symporter mediating the active transport of 131I plays a key role in radioimmunotherapy	服部浩一・○Heissig Beate	順天堂大院医
III部 : 座長 (加納博文)					
⑥	10:40~11:15	招待講演	ペロブスカイト太陽電池の実用化に向けた高耐久化およびプロセス開発	村上拓郎	産総研
IV部 : ポスター発表 ショートスピーチ					
	11:20~12:30	26件×2分 : 70分 (交代時間含)			

< V部 : ポスター発表、企業展示 > けやき会館レセプションホールにて

*時 間 ; 展示 12:00~14:50・・・発表と質疑 (13:30~14:50)		
ポスター発表	発表件数40件	物理化学、有機化学、触媒化学、生物活性、利用、応用、実用品の開発と製品紹介 など
企業展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (時間 ; 随時)

< VI部~VIII部 : 講演 >

	14:55~15:00	学会賞授与式 (受賞者 : 阿部博行)			
VI部 : 座長 (南方聖司)					
⑦	15:00~15:35	受賞講演	含ヨウ素化合物トラメチニブ (がん分子標的薬) の創製	阿部博行	日本たばこ産業 (株)
VII部 : 座長 (中島誠也)					
⑧	15:35~15:50	一般講演	キラル超原子価ヨウ素触媒を用いるエナンチオ選択的酸化的分子間ピアリアルカップリング反応	○ウヤヌク ムハメット・三鍋駿介・田中啓貴・石原一彰	名大院工
⑨	15:50~16:05	一般講演	アミノベンズヨードキソロンの合成とアリールボロン酸の求電子的アミノ化への活用	○川中一輝・成田修佑・清川謙介・南方聖司	阪大院工
⑩	16:05~16:20	一般講演	炭素-ヨウ素結合アトロプ異性体の合成と性質	○阿部将平・菊池 隼・松本有正・吉戒直彦	東北大院薬・奈良女子大理
⑪	16:20~16:35	一般講演	ジヨードアリールを中間物としたスティールカップリング電解重合を用いた液晶中共役系高分子ワンポット合成	○川上 涼・後藤博正	筑波大数理
VIII部 : 座長 (石原一彰)					
⑫	16:35~17:10	招待講演	Developing New Hypervalent Iodine Reagents: Enabling Unprecedented Reactivity	Chi Zhang	Nankai University

※各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

17:15~17:30	ポスター賞発表
-------------	---------

17:45~19:15	懇親会 (千葉大学生協フードコート2)
-------------	---------------------

ポスター発表プログラム

○発表 13:30~14:50 (ショートスピーチ 11:20~12:30)

番号前に「S」がある発表はショートスピーチ予定

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
S01	ハロゲン結合を用いた微香性ジチオリン酸エステル塩の合成と応用	○池田芽以・辻川 桜・浜田翔平・古田 巧・小林祐輔	京都薬大
02	尿素部位を含むキラルヨードニウム塩触媒の開発と応用	○小林志奈野 ¹ ・吉田泰志 ^{1,2} ・三野 孝 ¹	¹ 千葉大院工・ ² 千葉大 IAAR
03	ハロゲン結合のみを駆動力とするキラルヨードニウム塩触媒の開発と応用	○浜田開斗 ¹ ・吉田泰志 ^{1,2} ・舟久保宏道 ¹ ・三野 孝 ¹ ・坂本昌巳 ¹	¹ 千葉大院工・ ² 千葉大 IAAR
04	Arylbenziodoxaborole を利用したスルホニウム塩やホスホニウム塩の合成	○吉村 祥 ¹ ・Kim Ngo ² ・Viktor V. Zhbankin ² ・齊藤亜紀夫 ³	¹ 青森大薬・ ² UMD・ ³ 東農工大院工
S05	ジアリールヨード III の求核置換反応を活用した有機超原子価塩素 V 化合物の合成およびその反応	○川島功暉 ¹ ・高木泰成 ¹ ・宮本和範 ^{1,2} ・内山真伸 ^{1,3}	¹ 東大院薬・ ² 慶応薬・ ³ 信大 RISM
S06	超原子価ヨウ素反応剤を用いた Hofmann-Löffler 型環化による多置換ピロリジン合成	○田中唯太 ¹ ・佐々裕隆 ² ・菊嶋孝太郎 ¹ ・土肥寿文 ¹	¹ 立命館大薬・ ² 武庫川女子大
07	超原子価ヨウ素を用いた三置換オキサゾールの合成と 2 型糖尿病治療薬への展開	○石田寛明・岩本遊磨・本間翔也・伊藤俊将	昭和薬大
S08	超原子価ヨウ素を用いた 2-置換インドール誘導体の遠隔位ヨードエステル化反応	○和崎宏子・森山克彦	千葉大院理
S09	超原子価ヨウ素 III を利用した N-シンナミル-N-アルコキシベンジルスルホンアミドの酸化的遠隔位アリール転位反応	○笠原ほのか・鈴木まみ・森山克彦	千葉大院理
S10	新規炭素-窒素軸不斉型光学活性ヨードアニリン触媒を用いたエナンチオ選択的 α -トシロキシ化反応	○丸島隆誠・森山克彦	千葉大院理
S11	スルホキシドを酸化剤とする三価ヨウ素触媒反応を用いたアリール基導入型オキサゾール合成法	○東海林実和・馬越優貴・坪内 彰・齊藤亜紀夫	東農工大院工
12	光学活性ビスアミノイミノピナフトール亜鉛複核錯体を用いる <i>ortho</i> -アリルフェノール誘導体の触媒的不斉分子内ヨードエーテル化反応	○南波侑希・荒井孝義	千葉大院融合
S13	第四級アンモニウム次亜ヨウ素酸塩触媒を用いる α,β -不飽和カルボニルの γ 位選択的環状エーテル化反応	○浅田康太郎・松井 開・ウヤヌク ムハメット・石原一彰	名大院工
S14	6-ヨード-2-ピリドン触媒を用いるエステルのアミノリシス反応と液相ペプチド合成への展開	○山田 健 ¹ ・辻 菜々子 ¹ ・那須史生子 ¹ ・小田和佳 ¹ ・後上真凜 ² ・吉川武司 ² ・坂田 健 ² ・波多野学 ¹	¹ 神戸薬大・ ² 東邦大薬
S15	ヨードアゾリウム塩を用いるアミドの修飾の未来	○月原佐都子・小西祐史・浜田翔平・古田 巧・小林祐輔	京都薬大
S16	脱芳香族的ヨード環化反応によるスピロ[5.5]ウンデカン骨格の構築	沖津貴志・○小山彩保理・矢倉隆之	富山大薬
17	金触媒的ジイニル化反応を経由するトリアゾール置換インドール類合成法の開発	○多田教浩・久保田雄太・伊藤彰近	岐阜薬大
S18	テトラアリール[4]クムレンの二重ヨード環化反応によるスピロ環の構築	○伊藤 翼 ¹ ・上田昭子 ¹ ・南川慶二 ¹ ・八木下史敏 ^{1,2}	¹ 徳島大院理工・ ² 徳島大 pLED 研
19	ヨウ素を利用する[1]ベンズチエノ[3,2- <i>b</i>][1]-ベンズチオフェン類の合成	○永野克樹・伊藤和樹・中村航平・吉田和弘	千葉大院理
20	アルケンのフッ素化反応におけるヨウ素触媒作用	○北村二雄・小山田重蔵	佐賀大理工
S21	ニトロチオフェンのアミノ化と微量ヨウ素を活用した酸化重合による新規導電性高分子ポリニトロチオフェンの合成	○興梶紗英・後藤博正	筑波大応理

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
S22	ヨウ素ドーピングしたポリフェニルアセチレン上のソリトンを開始剤としたスチレンのラジカル重合	○木村奏太・後藤博正	筑波大応理
S23	プラズマにより発生したヨウ素ラジカルを使ったポリスチレンの合成と評価	○富田隆志・後藤博正	筑波大応理
S24	液晶中で合成した導電性高分子のヨウ素ドーピング	○川上 涼・後藤博正	筑波大数理
S25	高分子液晶エチルセルロース中での導電性高分子の電解合成とヨウ素ドーピング	○川上 涼・後藤博正	筑波大数理
S26	スティルカップリングを用いた共役系高分子の合成とヨウ素ドーピング	○徳嵩 葵・後藤博正	筑波大数理
S27	ポリアニリンをベースとしたヨウ素の吸着システム	○徳嵩 葵・後藤博正	筑波大数理
S28	ポリソルベート 80 被覆担体を用いたヨウ素捕集技術の開発	○島田伸吾 ¹ ・矢野成和 ¹ ・浅倉 聡 ² ・佐藤貴弘 ²	¹ 山大工・ ² 伊勢化学
S29	チアゾロ-3-リウム-4-オラートのヨウ素置換位置による結晶構造の変化	○鈴木 駿・赤染元浩・松本祥治	千葉大院工
30	ヨウ素を用いた無溶媒合成反応による全固体電池の正極材料創製と充放電評価	○篠田和希 ¹ ・野田悠成 ¹ ・那和光星 ¹ ・清水剛志 ¹ ・山本真理 ² ・加藤敦隆 ² ・高橋雅也 ² ・吉川浩史 ³ ・谷藤尚貴 ¹	¹ 米子高専・ ² 大阪技術研・ ³ 関西学院大
S31	PbS の熱電性能に及ぼす I, Br, Cl 固溶の効果	○安嶋勇人・林 晶人・五十嵐香	千工大工
S32	PbTe-RbI 固溶体の導電性	○根本享翼・五十嵐香	千工大工
S33	PbTe-AgI 固溶体の熱電特性	○小堀寛樹・五十嵐香	千工大工
34	電子顕微鏡観察用染色試薬としての臭素/ヨウ素標識ベンジジン誘導体の開発	○貝塚祐太 ¹ ・山本一夫 ² ・池原早苗 ³ ・池原 譲 ³	¹ 千葉大院薬・ ² お茶女大 IHLS・ ³ 千葉大院医
S35	自作光学 CT 装置を用いた PVA-I ラジオクロミックゲル線量計の三次元線量評価	○藤野圭介 ¹ ・林慎一郎 ² ・小野 薫 ¹ ・栗原凌佑 ¹ ・池田幸恵 ¹ ・清水秀年 ³ ・廣川 裕 ¹	¹ 広島平和クリ・ ² 広国大保健・ ³ 愛知がんセ
S36	ヨウ素含有健康維持薬の評価：分子モデリングによる薬効の予測と検証	○柳田祥三 ¹ ・三宅陽治 ²	¹ 阪大・ ² 阪大工
37	千葉県の天然ガスかん水からの新規ヨウ素酸呼吸細菌の単離	○長野美優 ¹ ・天知誠吾 ²	¹ 千葉大園芸・ ² 千葉大院園芸
38	<i>Pseudomonas</i> sp. SCT のヨウ素酸呼吸に与える Idr タンパク質複合体の役割	○香取七奈・柏 澄江・久保拓舞・天知誠吾	千葉大院園芸
39	<i>Pseudomonas</i> sp. SCT 株由来の異化的ヨウ素酸還元酵素 Idr に関する研究	○佐藤陽彦・久保拓舞・天知誠吾	千葉大院園芸
40	ヨウ素酸呼吸細菌 <i>Pseudomonas</i> sp. SCT 株のヨウ素酸呼吸における亜塩素酸不均化酵素様タンパク Cld の機能解明	○久下陽菜・天知誠吾	千葉大院園芸

企業など展示

出展企業	タイトル
K&O ヨウ素株式会社募集中	ヨウ素の製造、かん水中ヨウ素自動測定装置
株式会社 合同資源	ヨウ素化合物事業紹介、及び製品紹介
日宝化学株式会社	ヨウ素系・シアン系製品のご紹介
株式会社テクノプロ テクノプロ R&D 社	化学・バイオ分野に特化した研究開発支援

会場案内

千葉大学西千葉キャンパス けやき会館



・JR総武線各駅停車 西千葉駅

(西千葉駅には特急、快速電車は停車しませんのでご注意ください)

・京成電鉄 みどり台駅

それぞれ徒歩 10 分

<参考>

○東京駅より約 1 時間

総武快速線(稲毛駅乗換) 総武線各駅停車(西千葉駅下車)

○羽田空港より約 90 分

京浜急行(品川駅乗換) 横須賀・総武快速線(稲毛駅乗換) 総武線各駅停車(西千葉駅下車)

○羽田空港より約 100 分

リムジンバス幕張・千葉方面(千葉駅下車) 総武線各駅停車(西千葉駅下車)

※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。

お問い合わせ先

ヨウ素学会事務局

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学 千葉ヨウ素資源イノベーションセンター内

TEL/FAX : 043-290-3402

E-mail : sis@fiu-iodine.org